

近代日本音楽史塾

# 唱歌誕生!!

雅楽と讚美歌が出会い、日本の「唱歌」ができるまで  
最新研究が迫る! 私たちの音楽的感性はどのように形成されたのか!?

●日時: 2024年12月1日(日) 13時  
(受付開始: 12時30分)

●会場: 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス C401大教室  
東京都目黒区上目黒1-9-1 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分

●主催: 青森中央学院大学 【共催】安田寛近代音楽塾



## プレゼンテーション

基調講演 「洋楽史再々考」..... 北原かな子 (青森中央学院大学教授)

保育唱歌と日本語のリズム ..... 安田 寛 (奈良教育大学名誉教授、安田寛近代音楽塾長)

保育唱歌とその意義 ..... ヘルマン・ゴチェフスキ (東京大学教授)

「心のふるさと」を作った作曲家たち ..... 北原かな子 (青森中央学院大学教授)

参加費 無料 お申込み 事前のお申し込みは不要です

[協力] 坂元勇仁 (東京音楽大学特任講師)

## セミナーの開催にあたって

1868年の明治維新以降、日本では西洋の音楽が特に讚美歌や聖歌の形で合唱が導入され、従来の日本の伝統的な音楽が新しい西洋の音楽に置き換わったと一般に理解されています。しかし、実際の過程はそれほど単純ではなく、非常に複雑でした。この複雑さが見えにくくなっている最大の原因の

一つは、保育唱歌の貢献とその後の歴史がブラックボックスになっていることです。讚美歌・聖歌、小学唱歌(集)に比較すると、保育唱歌は正に幻の唱歌です。保育唱歌を知ること、日本の近代音楽史はまったく新しく見えてきます。皆さんと一緒にその歴史の旅を楽しみたいと思います。



お問い合わせ 青森中央学院大学 研究支援・地域連携課 Tel : 017-728-0131 Mail : kenkyushien@aomoricgu.ac.jp